

埼玉県加須市に加須PDセンターを開設

～ 圏央道を利用し首都圏向け物流サービスを強化 ～



センコー株式会社は、2016年11月8日に埼玉県加須市に「加須PDセンター」を稼働させました。

昨年10月、圏央道(首都圏中央連絡自動車道)の桶川加納IC～白岡菖蒲ICが開通し、埼玉県北部エリアは首都圏各地へのアクセス、東日本、西日本をつなぐ各高速道路へのアクセスが良くなり、物流拠点のニーズが高まっています。

当社でも既に狭山PDセンター、西関東ロジスティクスセンターなど圏央道沿いに物流センターを開設していますが、今回開設した新センターも圏央道、東北自動車道のインターチェンジとのアクセスが良く、首都圏全域をカバーする物流拠点として、お客様にご利用いただけます。

新センターは延べ床面積約5万㎡で、建物の両側には92台のトラックが接車できる高床式のトラックバースを設け、貨物の積み降ろしの効率を高めています。また、天井を高め設計しており、様々な貨物を効率的に保管できます。さらに貨物の仕分けを行うソーターを設置し、作業を効率化します。

新センターの屋根には発電能力2メガワットの太陽光発電装置を設置しており、売電事業を行います。

今後、10万5千㎡の敷地を利用して2棟目の物流センター建設も計画しており、首都圏北部エリアでの事業基盤の強化を進めていく考えです。

【施設の概要】

1. 名称 : 加須PDセンター
2. 所在地 : 埼玉県加須市中ノ目7
3. 建物構造 : 鉄骨造 地上2階建て
4. 敷地面積 : 104,900㎡ (31,700坪)
5. 延床面積 : 48,200㎡ (14,600坪)
うち 倉庫面積 41,000㎡ (12,400坪)
6. 設備 : ソーター(自動仕分け装置)、
貨物用エレベーター 2基、垂直搬送機 7基
ドックレベラー 3基、クライミングレベラー 2基、
トラックバース(接車台数 92台)、
太陽光発電装置

以上